

令和7年度 第6回益富地域会議 会議録

日 時：令和7年9月17日（水曜日）19時00分～20時15分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：

＜益富地区各自治区長＞

久米 兼策（古瀬間自治区）、澤田 康廣（志賀ニュータウン自治区）、
山内 健二（古瀬間グリーンパーク自治区）、河田 仁一（五ヶ丘第1自治区）、
中山 修（五ヶ丘第5自治区）、高村 伸一（五ヶ丘第8自治区）

＜地域会議委員＞

梅木 貴仁、加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、黒田 隆、今野 貞直、
櫻井 裕子、鈴木 勲、鶴田 政勝、橋本 卓美、古川 和彦、間瀬 亮次、
森本 泰崇、山内 日出美

欠席者：柴田 栄作、田中 強、寺崎 謙二

＜高橋支所＞

前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

＜傍聴者＞

4人

＜内容＞

1 豊田市民の誓い唱和

2 会長及び益富地区区長会会長あいさつ

会長から、今後の益富地区における各団体の横のつながりを強化していくために、今回、益富地区区長会と地域会議で意見交換することになった旨説明した。

3 益富地区区長会との意見交換【グループワーク】

益富地区区長会の各自治区長と地域会議委員で、今後の地域課題解決事業案を主とした意見交換をグループに分かれて行った。最後に各グループで出た意見等を全体で共有した。

グループ	主な意見
①	共助交通の取組は、カーシェアリングが重要となってくるが、運転手のボランティアが集まりにくいことが課題。加えて、カーシェアリングを導入した際は、どのルートを通るか、また、保険はどう取り扱うのかといったことを十分に考える必要がある。共助交通に関する勉強会は高齢者クラブの人も招いてより良い内容にしていきたい。
②	事業案に取り組むにあたり、そもそも、今の高齢者が、自治区活動に協力的ではないことが問題。自治区活動に協力してもらう方策を考える必要がある。社会参加ポイントは良い取組なので、いかに住民を地域の活動に引き出すかを検討することが重要となってくる。

	多世代と高齢者の文通については、小中学生からの便りを好む人は返信してくれると思うので実現してほしい。 共助交通は、平日動ける住民の方がチームを組んで共用車で運行できると活発な運用が期待できるのではないかと思います。
③	地域で活動しているサロンのマップ作成は、「益富地区まちづくり推進協議会」でも検討しているので早急に取り組んで、地区住民が色んなサロンに参加できるようにしてもらいたい。 社会参加ポイントは、何の活動に参加すればポイントが付くのかといった基準を決めることが重要。例えば、環境美化活動に参加した場合もポイントが付くといったことも考えてはどうかと思う。 多世代との交流については小中学生が何のためにこの交流を行うのかということが分かるようにしてほしい。 「コドクエ」は非常に難しいので小中学生に覚えてもらって彼らに広めてほしい。
④	区長就任 1 年目で分からないことが色々ある。サロンマップの作成を例にしても、地域で活動している「サロン」と「カフェ」の違いが分からない。 サロンマップの作成にあたり、各サロンをネットワーク化してまとめられるとよい。 社会参加ポイントについては、自治区の負担が少ないやり方で導入してほしい。 多世代との交流は、交流館を中継して取り組む手法も考えられる。 共助交通は、自治区単位だと役員に負担がかかることが懸念されるので、できれば小学校単位で導入してはどうかと思う。

4 事務連絡

(1) 益富ふれあいまつりでの地域会議ブース出展について

会長から今回はブースを設けないことを説明し、委員全員の合意を得た。

(2) 事務局からの説明

①令和 7 年度 第 7 回益富地域会議

- ・日 時：令和 7 年 1 0 月 2 2 日（水曜日） 1 9 時～
- ・場 所：益富交流館 多目的ホール

②令和 7 年度第 3 回 五ヶ丘まちづくりワークショップ（令和 7 年 9 月 2 8 日（日）開催）の案内

③第 3 回 高橋・美里・益富地区ラリーフォトコンテストの案内

以上